

## I. 評価方法

評価実施に当たっては、文部科学省（生涯学習政策局）より定められている「専修学校における学校評価ガイドライン（平成 25 年 3 月）」を参照した。評価項目についてはガイドライン及び平成 25 年度 学校自己評価報告書を参考に設定したが、条件が異なり本校の評価に適応しづらい場合には昨年度と同様、適宜項目を変更した。

本校における学校評価は平成 25 年度より実施されている。今年度は平成 28 年度の評価を参照し、継続的な質保障・向上を目指すものとする。

### 評価実施者

専門学校日本医科学大 学校評価委員会

### 評価実施期間

自) 平成 29 年 6 月

至) 平成 30 年 3 月

1. 評価項目

評価項目を以下に示す。

カテゴリー		下位項目	点検項目数
1	教育理念・目標	1) 学校の教育理念・目標の設定	3
		2) 教育理念・目標の達成	3
		3) 教育理念・目標の点検、見直し	3
		4) 学校の将来構想の明確化	2
2	学生の受け入れ	1) 学生募集の方法	4
		2) 入学者選抜方法	3
		3) 学生募集の広報	2
		4) 学生定員の質・量的充足状況	4
		5) 学生募集に関する分析・評価体制	3
3	学生生活への支援	1) 健康管理	4
		2) 学生相談室、進路相談室の設置と対応	4
		3) 課外活動とボランティア活動	4
		4) 自治会への支援	2
		5) 福利厚生（奨学金制度）（学生宿舎） （学生同窓会）	4
4	教育課程 （看護師科）	1) カリキュラムの立案	5
		2) カリキュラムの効果的編成	3
		3) カリキュラムの点検・見直し	3
	教育課程 （視能訓練士科）	1) カリキュラムの立案	5
		2) カリキュラムの効果的編成	3
		3) カリキュラムの点検・見直し	3
	教育課程 （メディカル外語学科）	1) カリキュラムの立案	5
		2) カリキュラムの効果的編成	3
		3) カリキュラムの点検・見直し	3

5	教育活動・教育指導のあり方 (看護師科)	1) 学生支援 (ガイダンス)	4
		2) 授業の計画的遂行・調整	3
		3) 授業科目の担当・時間	4
		4) 教育方法の工夫・研究	5
		5) 授業評価	3
		6) 単位互換	2
		7) 成績評価・単位認定	5
	教育活動・教育指導のあり方 (視能訓練士科)	1) 学生支援 (ガイダンス)	4
		2) 授業の計画的遂行・調整	3
		3) 授業科目の担当・時間	4
		4) 教育方法の工夫・研究	5
		5) 授業評価	2
		6) 単位互換	2
		7) 成績評価・単位認定	5
	教育活動・教育指導のあり方 (メディカル外語学科)	1) 学生支援 (ガイダンス)	4
		2) 授業の計画的遂行・調整	3
		3) 授業科目の担当・時間	2
		4) 教育方法の工夫・研究	6
		5) 授業評価	3
		6) 単位互換	2
		7) 成績評価・単位認定	5

6	実習指導体制 (看護師科)	1) 実習施設の要件	5
		2) 実習場の開発	2
		3) 実習指導者の能力開発	4
		4) 実習指導体制	6
	実習指導体制 (視能訓練士科)	1) 実習施設の要件	6
		2) 実習指導体制	6
	実習指導体制 (メディカル外語学科)	1) 実習施設の要件	2
		2) 実習場の開発	2
		3) 実習指導体制	3
7	研究・研修活動 (看護師科)	1) 研究・研修活動の財政面の整備	3
		2) 教員の研究活動	5
		3) 研究成果の発表	2
		4) 研修活動への積極的参加と教員の活動	4
	研究・研修活動 (視能訓練士科)	1) 研究・研修活動の財政面の整備	3
		2) 教員の研究活動	5
		3) 研究成果の発表	1
		4) 研修活動への積極的参加と教員の活動	4
8	組織・管理運営	1) 学校の組織と関連組織の整備	7
		2) 講師・実習指導者の要件	3
		3) 教員人事の適正配置	2
		4) 教員の職務分掌	7
		5) 会議への参加運営	5
		6) 学籍の管理	2
		7) 卒業生の進路	3
		8) 資格取得（国家試験）合格状況	2

9	施設整備	1) 校舎の整備と管理	7
		2) 学生支援施設の整備と管理 (保健室) (学生相談室) (男子学生用の整備) (学生ホール)	6
		3) 図書室の整備と管理	10
		4) 教材の整備と管理	5
10	社会への貢献	1) 地域との連携と社会への啓蒙	3
		2) 近隣関連施設との連携	2
11	予算	1) 事業計画	2
		2) 予算の執行	2
		3) 経営意識	2
12	学校評価	1) 自己点検・評価体制	5